

(17) 滋賀大学教育学部 附属特別支援学校

所在地	〒520-0002 滋賀県大津市際川3丁目9-1	
連絡先等	電話	077-522-6569
	F A X	077-526-2279
	ホームページ	https://www.edu.shiga-u.ac.jp/ft/
	E-mail	yougofuk@edu.shiga-u.ac.jp
障害種別	知的障害	
設置部	小学部 中学部 高等部	
幼児児童生徒数 (R5.5.1現在)	小学部	15名 (内訳: 1年3名、2年3名、3年0名、4年3名、5年3名、6年3名)
	中学部	17名 (内訳: 1年6名、2年6名、3年5名)
	高等部	25名 (内訳: 1年9名、2年8名、3年8名)
	計	57名
通学区域	<p>原則として大津市、草津市、栗東市、守山市、野洲市、高島市(野洲市、高島市は中学部、高等部のみ出願可)に在住し、小学部は一人で通学できる可能性がある者、または保護者の付き添いで安全に通学できる者。中学部は一人で通学できる可能性があり、通学に保護者が責任を持てる者。高等部においては一人通学が可能であり、通学に保護者が責任を持てる者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学部: 片道の通学時間が60分以内である者。 ・中学部: 片道の通学時間が80分以内である者。 ・高等部: 片道の通学時間が90分以内である者。 	

1 本校のあらまし

本校は、知的障害対象の小規模(小18 中18 高24 計60人の定員)な特別支援学校で、国立大学法人滋賀大学教育学部の附属特別支援学校として大学や他の附属校園と密接な連携のもとに実践的研究と教育実習を行っています。立地は背に比叡山、前に琵琶湖の閑静な住宅地で、唐崎学区の保・幼・小・中の各校園と隣接しながら文教ゾーンを形成しています。

本校は附属小・中の障害児学級を母体に昭和53年に開校し、翌年に校舎・体育館、昭和57年にはプールが完成しました。平成元年に日常生活訓練施設「にじの家」が増築され、宿泊訓練や諸活動に利用しています。校舎には普通教室のほか、各種作業室、情報教育室、多目的ホール(プレイルーム)等があり、実習農場も近くにあります。その他、大学附属関連施設等も有効に活用しています。

平成16年の国立大学法人化を契機に、これまで培った大学附属の特別支援学校としての実績や大学との共同・小規模・独自の教育課程(体験学習・実習の発展活用)等の特色・強みを積極的に発揮し、地域のニーズに応えられるよう努めています。特に、平成17年度より「学習・発達支援室」を創設し地域のセンター的役割を果たしています。

2 教育の方針および特色

(1)「明日が楽しみな学校」をスローガンに、「生きぬく力(たしかに、まろやかに、たくましく)」を育て、一人ひとりに合った自立と社会参加をめざしています。

- 小学部では、「自分一人でもがんばれる、みんなともがんばれる」子どもをめざし、日常生活の指導（朝の会・帰りの会・給食・更衣・着替え等）、遊びの指導（合同遊び）、生活単元学習（せいかつ・しごと等）、教科別の指導（ことばかず・からだ、音楽、図工等）に取り組み、全面発達の基礎作りに力を注いでいます。特に登山行事「〇〇歩き」では、足腰を鍛え、丈夫な体作りと粘り強い心を育てることをねらい、年7回比叡山等を登ります。昭和56年から続く本校の特色ある行事の一つです。



小学部「比叡山歩き」

- 中学部では「社会人として生活するための基礎的能力を養う」ことを目指しています。「仲間とともに」をキーワードに集団（友達）での学習や、体験的な学習を通じて「集団づくり・仲間づくり」（人との関わり）・「共に学び育つ」ことを大切にしています。特に、生活単元学習（クラスタム等）では、生徒達の主体性を重点に置き、仲間といっしょに力を合わせて活動する楽しさや達成感を育てています。

- 高等部では「よりよい社会自立をめざして ～自分で選ぶ、自分で決める、仲間とともに、創り出す～」ことを目標に取り組んでいます。様々な体験的集団的な取り組みを通して、豊かな人間性や人との協調性を育む、思考力や判断力、自分らしく自己を主張し、主体的に生きていける力を育むことを大切にしています。職業教育では働くことの意義について理解することを大切にしつつ、就労体験学習では、より実践的な職業体験学習を通して、将来の就労についてのイメージを持たせるようにしています。



高等部「滋賀大での就労体験」

(2)進路指導では、児童生徒が様々な体験を通して、自分の将来について考え、自己実現していけるように教育活動全般を通して行っています。現場実習では、自らの能力・適性を理解し、卒業後の進路先や生活の仕方などについて自ら選択・決定できる機会を設け、自分なりの進路を創っていくことを大切にしています。また、卒業後の生活全般についても安心と充実をめざし、自立や社会参加ができるように、学校と保護者、関係機関、卒業生組織と連携をとり、フォローアップしています。

(3)昭和60年に附属養護学校同窓会(びわの会)が設立され、同窓生の集い「青年学級ファンタジー」として毎月1回活動しています。卒業生にとってはカラオケやソフトボール、懇親会などの活動をとおして気持ちが解放され、職場の悩みや人生の悩みなどを仲間と語り合える場になっています。また勤続10年、20年の表彰も行っています。

(4) 「学習・発達支援室」は、

○滋賀大学教育学部との共同研究から誕生

学習・発達支援室は、平成17年4月に附属特別支援学校内に新設されました。滋賀大学教員と附属教員による研究成果として立ち上がった相談ルームです。

○特別支援教育に携わる学校園や地域の教育関係機関をサポート

本校の通学圏域（大津・草津・栗東・守山・野洲・高島）において幼児・児童・生徒の理解や授業改善等についての「巡回」「相談」を実施しています。また、県内の校園や地域、教育関係機関、滋賀県総合教育センター等からの特別支援教育に関する研修会や各種委員会の依頼に対して講師を派遣しています。

○対象は、保育園、こども園、幼稚園、小学校、中学校の先生方です。

○主な支援内容

○就学前

- ・園児の発達、園児の障害、園児の支援、あそび、多様なコミュニケーション支援
- ・職員研修等

○小学校・中学校

- ・通常の学級や特別支援学級における特別な支援を必要とする児童・生徒への対応
- ・児童生徒の発達や障害への支援、多様なコミュニケーション支援
- ・職員研修等

(5) 開校当初から「地域とともに生きる特別支援学校」として、近隣の園児とのおもちゃ作りや、グランドゴルフ、花壇や畑づくり等の活動を通して交流をしています。また、教員も唐崎学区の青少年育成学区民会議や「人権・生涯」学習推進協議会等の地域連携活動へも参加しています。

3 学校案内図

■JR 湖西線利用の場合

- ・唐崎駅下車 約 1,500m

■JR 琵琶湖線利用の場合

- ・膳所駅下車 京阪電車「滋賀里」駅下車 約 1,000m
- ・大津駅下車 江若バス「際川」バス停下車 約 500m

■自家用車の場合

- 名神大津インターを下り、浜大津方面より県道高島大津線を堅田方面へ
自衛隊大津駐屯地正門をすぎて 150m の信号（自衛隊北）を西大津バイパス方向へ左折後、点滅信号右折 50m
- 京都東インターから、西大津バイパスを滋賀里ランプで下りてすぐ、際川方面へ 1,100m の点滅信号左折 50m



4 教育相談

学 校 名	滋賀大学教育学部附属特別支援学校
場 所	滋賀大学教育学部附属特別支援学校
相 談 日	入学選考説明会 8月31日(火)
申 込 方 法	募集要項(5月下旬配布予定)をご覧ください。
相 談 内 容	・入学選考に関わる保護者説明
場 所	学習・発達支援室(附属特別支援学校内)
相 談 日	随時(要相談)
申 込 方 法	附属特別支援学校内、学習・発達支援室に電話連絡で申し込んでください。(電話番号は、特別支援学校と同一です。)
相 談 内 容	・大津・草津・栗東・守山・野洲・高島など通学圏域の学校や就学前施設を対象に特別支援教育に関わる相談等を受け付けています。